

柏陵

新事業の継承を願う

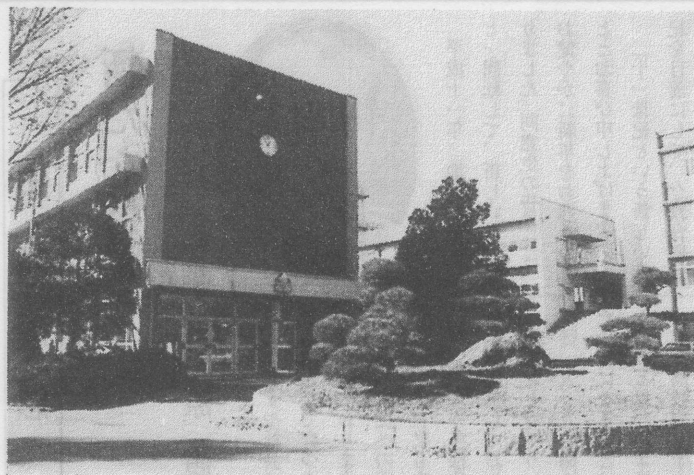
同窓会長

戸谷全克
(高一回卒)



新春を迎え、会員の皆様には益々ご清栄の事と、心よりお慶び申し上げます。

いよいよ来年より二千年代に入る事になりますので、二十一世紀には二千年程あると申しまして、今年は一千年代を締めくくる大変意義ある年と申せます。従って会員各位におかれまして、その



母校管理棟をのぞむ

事を念頭において、それぞれの職務に一段とお励みなされまますよう希望致します。

処で、昨年は同窓会活動の新機軸と致しまして、高校卒後五十周年記念同期会の開催を提唱させて頂きました。従来同窓会に於いては、ご承知のように二月に支部長会及び新年会、六月には定期総会並びに親睦会を毎年の活動として実行致しておりますが、それは織物に譬えますと、縦糸のようなものでありまして、肝心な横糸となるべき各同期会に関しましては、各回の自主性に任せておりましたので、やや積極性に欠ける回も見受けられました。

会長就任以来、その件に就きまして共通の目標を提案し、同期会の活性化を図ろうと考えておりました処、たまたま平成十年が高校一回卒の母校卒後五十周年に当たる事が分かり、しかも提唱者の私の卒回でもありますので、諺にも「まず、隼より始めよ」(物事は言い出した者から実行せよの意)と云われておりますので、昨年二月の支部長

発行
県立本庄高校同窓会
会長 戸谷全克
事務所 本庄市中央1-7-21
戸谷八内
TEL 049(22)2008

会議並びに六月の総会に議題として卒後五十周年記念同期会開催の件を上程し、ご承認が頂けましたので、同期の役員会で具体案として母校文化祭の日に母校に集合、母校への記念品贈呈式の挙行と校内見学、五州園での懇親会、更に通学当時の各人の思い出を綴った記念誌の作成と云う三つの事業を計画し実行致しました。これ等には同期生半数の参加が得られ、中には五十年振りに会う友もあり、感激を新たに致しました。

今後は二回卒以後の方々も卒後五十年と云う人生に於ける大きな節目の年を同期生同士お互いに祝って、特色ある記念行事を実施されます事を切にお願い申し上げます。

第十九代校長 国谷敏朗氏 (本中十七回卒) 受章される



長年の教育業績に対し、昨秋「勲五等雙光旭日章」の叙勲をお受けになりました。同窓会一同心よりお祝いを申し上げます。

総会・支部長会議 新年会日程			
二月十四日(日) 於 五州園			
一、支部長会議 午後三時			
二、記念音楽会 午後四時半			
ソプラノ独唱 浅見多佳子 (東京音大卒)			
ピアノ伴奏 岡 典子 (国立音大卒)			
三、新年会 午後五時			
会費 三千元			
六月十九日(土)			
一、総会 午後三時			
於 母校視聴覚教室			
二、懇親会 午後五時			
会費 三千元			
於 埼玉ランドホテル本庄			
本部・支部役員			
会長	戸谷 全克	高1	宮本町 卜部 義典 高1
副会長	立川 大作	中9	泉 町 竹並栄一郎 併中2
副会長	高木 敏子	女8	上 町 境野 登 高2
副会長	清水 實	中19	照若町 飯野 利衛 中19
副会長	吉田 建治	高2	仲 町 中田 脩一 中19
副会長	塚越 寿衛	高2	七軒町 町田 一徳 高5
副会長	竹並栄一郎 併中2		本 町 矢代 和正 高6
副会長	戸谷洋一郎 高14		台 町 松本 敬一 定1
副会長	戸谷洋一郎 真澄		南本町 村田敬次郎 中22
副会長	教頭 小峯 理介		末広町 野枝 直治 高5
副会長	計 内野ヨシエ 女16		諏訪町 井上 昌幸 中22
計	清水 正一 高6		朝日町 内藤 明 高3
監事	江原 清吉 高4		藤 田 宮崎 興憲 高4
監事	竹内恵美子 高6		仁 手 福島 好正 高3
顧問	岡 祐孝 中9		旭 亀田 本二 高4
顧問	(校長) 郷原 康一		北 泉 塩原 暁 高5
			今 井 鈴木 弘 中13
			児 玉 吉田 建治 高2
			美 里 春山 一三 高3
			神 川 金井 久直 中22
			神 泉 新井 從信 中15
			上里神保原森村 信行 高14
			上里賀美 小野 英彦 高14
			上里七本木斎藤 勝次 高14
			上里長幡 小柳 喜政 高10
			岡 部 茂木 肇 中14
			寄 居 松本 恭一 高2
			深 谷 清水 實 中19
			熊 谷 西村 茂雄 中17
			県庁東南 小池 久 高10
			伊勢崎 吉澤 唯志 高11
			新 町 高嶋 重皓 高6
			東 京 富田 三郎 中4
			本庄市役所 戸谷洋一郎 高14
			エーザイ 北川 茂 高11
			沖電気 村岡 徳英 高15
			児玉郡市教職員 宮部 彰 高14

柏陵消息

新たな世紀へ

校長 郷原 康一



平成十一年、地球がぐるりと一回転して、新しい年となりました。同窓生の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

二十一世紀という新しい世紀を目前にして、今教育界は目まぐるしく動いています。

平成十四年からは、学校完全週五日制が実施されます。平成十五年からは、学習指導要領が全面的に改定され、教育過程が大きく変わろうとしています。情報、環境、福祉、国際などの言葉がキーワードとして浮かび上がっています。一方、昨今の若者の行動様式から、心の教育の重要性が叫ばれ、大きな社会の関心時となっています。

我々が本庄高校の生徒らも、この教育改革という流れの中で、進学志望という未来への夢を抱きながら、日々学習活動や部活動に励んでいます。その実現への地道な

努力は必ずや社会に貢献できる人材として育つことを私たちは信じております。推薦入学志望の生徒への面接指導などを通して、私も生徒らの希望がいつそ多様化していることを実感しております。二十一世紀とはそういう多様な生徒一人一人の個性を生かした世紀になることは間違いないだろうと思われまします。

本庄高校の七十六年という素晴らしい伝統を踏まえながら、新しい社会のありようを見据えて、引き続き創造性と豊かな心を育む教育の実現に向けて、最善の努力を払う所存です。二十一世紀という未知の世紀に、本庄高校に学ぶ生徒らが、限らない大空へ羽ばたき、大きく社会に貢献する、そんな夢を描きつつ、私たちは教育という果てしない仕事に邁進して参ります。

同窓生の皆様にはいつそご健勝にてご活躍されますことを祈念申し上げますとともに、母校へのさらなるご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます次第です。

楽しい生徒会

生徒会長 笹井 卓



楽しい生徒会今年の僕達のテーマです。ただ楽しいというだけでなく、やることはきちんとやり、その上で成功させる、当然のことなのですが、まずはそこから始めています。そして先輩方から引き継

野球部の諸君へ

脇坂 圭治
(高一 回卒)



昭和二十年九月、勤労動員から戻った母校の校庭の大半は芋畑、玉蜀黍畑と化していた。野球部が復活したのは間もなくのことだった。先ず畑をグラウンドに――生徒の汗まみれの作業により整備された。グローブ・バット・ボールは何とか集められたがスパイクシューズはなく、ユニホームはバラバラだった。それでも厳しい練習を重ね徐々にチームらしくなっていた。

いた本庄高校を、よりよくしていきたいです。

今現在の生徒会のメンバーは、男子四名と女子十名の合計十四名で、みんな個性のあるメンバーでみんなの仲もよくなってきた、いい雰囲気です。一生懸命頑張っています。一年間、このメンバーなら、良い生徒会ができると思うので、応援よろしく願いします。

まだまだ分からないことが多いですが、本庄高校の生徒会らしい生徒会にしていきたいです。

昭和二十一年、戦後初の埼玉県春季大会(軟式)に優勝、同年、全国中等学校野球大会(現在の全国高校野球選手権大会の前身)県予選に初優勝し、「県北に本庄中学あり」と評価された。甲子園出場をかけた南関東大会(当時は埼玉・千葉・神奈川三県より一校のみ出場)に駒を進めたが、横浜商業に延長戦で敗れた。学制改革により全国高等学校野球となった昭和二十三年の県大会に優勝、再度南関東大会に挑戦したが決勝戦で成田高に1対0で惜敗、遂に甲子園への出場はならなかった。当時より五十余年の歳月を経たが、高校野球は年々盛んになっている。それにしても、戦後築かれた本庄野球部の伝統は何処へいつてしまったのだろうか。高校野球は参加す

ることにのみ意義があるのでなく、強くなることに意義があるのだと思う。強くなる為には何をなすべきか。一九二八年アムステルダムオリンピックの三段跳びに日本陸上初の金メダルをとった織田幹雄氏は言っている。「努力こそがすべて、努力すれば道は開ける。強くなる。一つの目標に達すれば、更に高い目標をかけたそして実行した」と。野球部の諸君の奮起を強く望んでやまない。

母校同窓会係を担当して

埴岡 正人
(高二 回卒)



本庄高校に赴任し六年が過ぎようとしています。

最初の四年間は渉外部に所属しておりました。渉外部はPTA活動と同窓会活動の手伝いが主な仕事ですが、この仕事をきっかけに多くのOBの方々と面識が持て、とても貴重な体験をすることができました。

PTA活動では、本高OBの役員さんが結構多いことにびっくりしました。子供の為には勿論ですが、母校の為に一所懸命になつてくださる

姿に我々OB教員もすっかりやらなければと励まされる思いがしました。世間の情報に疎い私にとって、ほとんどの方が人生の先輩である役員さんとの交流はとてもいい社会勉強になりました。

また、同窓会担当として役員会、総会、支部長会議等にも同席させていただきました。執行部役員さんの、そしてまた総会に出席された先輩OBの方々の母校に対する愛情を肌で感じる事ができました。ただ、残念なことは、我々の年代も含め若い同窓会員の総会への出席が非常に少ないということでした。今年度は、三十一回卒の野坂氏が出席され、同年代の会員を総会に呼び集めようと誓い合った次第です。

四十代にもなると、同級生から子供の高校進学で相談を受けることが多くなります。どの高校がいいかと聞かれるとやはり本庄高校と答えます。本庄高校は、勉強は勿論のこと、自主・自立の根づいた高校として親にとっても、OBにとっても人らしい高校でありたいと願っています。そのためには、やはり若い世代(高校生の子供を持つ前)のOBの声を聞く機会を設ける必要があると考えています。年代を超えて、多くの同窓生の皆さんが語り合い、交流できることを願っています。

母校近況

マミズクラゲを発見

生物部部長

中沢 勇太

昨年の八月下旬、美里町の太池に友人と釣りに行ったところ、水面に何か小さな白い物がたくさん漂っているのを見つけた。すくってみると淡水産のクラゲ・マミズクラゲで、以前テレビで見たことがあったので、これがそうなんだと感激しました。

顧問の石原先生と遠藤先生に報告したところ、貴重な発見とのこと、県営さいたま水族館に連絡してもらい、クラゲの資料提供や飼育についてのご指導を頂きました。

マミズクラゲは体長2cmほどの透明な体でUFOのようにフワフワと水面に浮かんで沈んでいくという運動を繰り返すとても可愛い生き物です。我が生物部では、二百四

余りを採集して来て、熱帯魚の餌のブラインシュリンプを与えながら、十月中旬まで一カ月以上の飼育に成功しました。文化祭の直前に、これが「毎日新聞」に話題として載り、「柏樹祭」での展示発表は例年になく盛り上がりました。また十月九日、TBSの「お天気クジラ」でも「珍し

いマミズクラゲ」の話題として、本校生物部の活動が全国放映されました。

マミズクラゲは、中性・弱アルカリ性の水質を好み、酸性雨の影響か、最近発生

報告が無かったようです。今年も研究を継続していきますので、ご期待ください。

地学部

部長 島田 達彦

本庄高校OBの皆様方、風邪などひかずお元気でしょう

か。

我々地学部の現部員数は三年生が引退して、六人と少し心もとなひのですが、そんな事は気にならないくらい元気に活動しています。

さて、地学部の最近の活動についてですが、皆様も記憶に新しいでしょう、獅子座流星群の観祭です。

部員達が次の日も授業であるにもかかわらず集まり、天体観測を行いました。獅子座流星群は約三十三年に一度の周期で大流星雨が観測されていることと、少し前に行われたジャコビニ流星群の観測が不発に終わったこともあり、今回は期待が大きかったので

すが残念ながら「大流星雨」と言うほどのものは観測できませんでした。しかしながら、四時頃に観測された流星の鮮やかさには思わず見とれてしまふほどでした。そして何よりも部員達の連帯感がとても心地よい一夜でした。

その他の活動として、一年生の北谷君が理科展に出席しました。「気圧配置と熊谷の天気」というタイトルでした。驚いたことに彼は三年間書き続けた天気図も出展し、高い評価を受けていました。

文化祭では、伝統のプラネタリウムを中心に映画上映等々、充実した内容になりました。

是非とも文化祭にお越しの際は、地学部を足をお運び下さい。

平成八年度に建築が決まっていた来待つこと二年、自分の家が建つような気持ちで平成十年三月に新武道館の落成を迎えました。予想通りの立派な武道館であり、後は中身だけと言われるようで、身が引き締まる思いがしました。ともあれ、道場の体裁を整えるべく、道場正面に書を入れた額、部員用の名札額が欲しいと考

えていたところへ、名札額は、同窓会の第一回卒業生の皆様から寄贈いただき、正面の額については後援会で予算をつけて、中山先生に揮毫いただき両方とも揃えることができました。大変ありがと

うございました。

さて部の方ですが、部員数は、引退した三年生は男女一名ずつ、活動している生徒は一年男子五名、女子五名、二年男子一名、マネージャー二名の合計十五名です。主な成績では、昨年松本尚樹が県大会でベスト16、今年度斉藤絵美が熊谷の大会で優勝した程度で、めざましい者はありませんが、来年度から団体戦で好成績を残せるように頑張っていきたいと思っています。

顧問は私と数学科の高橋雅雄先生で指導をしています。私も昨年七段を取得し、気持ちも充実してまいりました。

現在の部の状態ではまだまだですが、将来は関東大会に出場できたらと考え、練習法を工夫しているところです。

待望の新武道館で

剣道部顧問 小島 光正

少人数ながら大きく活動 男子バレー部

全国的なバレーボール人気の陰りは、わが本庄高校においても例外ではなく男子部員十名に女子マネージャー二名を加え総勢十二名で活動しています。

本年度は、上級生三年生が皆無ということもあり関東大会予選・高校総体予選においては顕著な成績がなくシード権がないまま新人戦の第一次予選である秋季大会を去る十一月二十二日に戦った。最

訃報

戸井田 實先生

先生は第十五代校長として昭和四十六年四月より二年間ご指導頂きましたが、去る平成十年五月二十八日、八十六歳で逝去されました。ご逝去に伴って「正五位勲四等瑞宝章」の叙位叙勲を授かっております。

中主 厚先生

先生は昭和十六年五月より昭和三十七年三月まで二十年間、名物教師として多くの部員がその薫陶に接しました。平成十年七月二十日にご逝去なされましたが、ご逝去に伴って「従五位勲四等瑞宝章」の叙位叙勲をお受けなされました。

栗田 竹雄先生

先生は昭和三十四年四月より昭和四十一年三月まで七年間、理科教諭並びに定時制主事として活躍なさいました。去る平成十年十二月十三日ご逝去なされましたが、平成八年には高齢者叙勲として「勲四等瑞宝章」を受章なさっております。

お三人の先生方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

- 卒後五十年記念事業 概略報告
- (旧中23・高1)
- 一、負担額一名約一万三千元
 - 二、記念事業
 - 新武道館の名札額(柔剣道部用)二個贈呈 費用 一拾万円
 - 三、母校文化祭見学 (H10・9/20)
 - 四、懇親会(於 五州園)
 - 五、記念誌作成(約百頁)(内容)
 - ①在学当時の思い出の記録
 - ②付属資料
 - (1)当時発行の「柏陵ニュース」の抜粋
 - (2)関係写真類

会費納入についてお願い

親愛なる会員の皆様、私達は母校への寄与
貢献と会員相互の親睦向上を念願に努力して
おりますが、基礎財源は年会費(壹千円)又は
終身会費(壹万円)であります。

未納の方の御協力をお願い申し上げる次第
です。会費ご納入の際には必ずご送付申し上
げた振込用紙をご使用下さい。なお念のため
加入者名・口座番号をお知らせ致します。

加入者名 埼玉県立本庄高等学校同窓会
口座番号 〇〇三〇六一八七〇二〇

本高同窓会役員一同

終身
会費納入者芳名 (卒年別)

H10・4・1 H10・11・30

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 【中1】橋爪 与一 | 【女10】須賀千鶴子 |
| 【中9】小林 久夫 | 【女11】井上登美 吉田いと |
| 【中10】坂野 潔 | 【女12】下山ふさ子 |
| 【中11】橋爪伸彦久 山田五郎 | 【女13】三浦もと子 |
| 【中15】木村 茂 高野 寛 | 【女14】梅村雅子 戸塚周子 |
| 【中17】俣田信一 吉橋公輝 | 【女16】新井政子 |
| 【中18】武正礼二 | 【女17】細野登美子 倉本春江 |
| 【中19】吉野十郎 | 【女19】太田すみ 田口典子 |
| 【中20】井田和夫 小澤弘昌 | 【女20】野坂クニ子 |
| 山口嘉朗 横堀辰寿 | 【女20】中村典子 河田千枝 |
| 【中21】西井辰夫 中林喜典 | 寺田和子 須賀香代子 |
| 【中23】池田金吾 石井正夫 | 石井香野枝 |
| 小暮 喬 | 【女22】亀田吟子 横堀富子 |
| 【併中2】網島慎蔵 | 【女23】藤波 香 |
| 【女2】田村 テル | 【女併1】久保テル |
| 【女4】橋本 光子 | 【高1】中島 清 |

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 【高2】成瀬幸太郎 | 【高20】上田 修 大野優治 |
| 【女高1】日向 理 | 金井良次 為員 勇 |
| 【高3】浅見貞男 坂本 晃 | 【高21】清水ひろ子 |
| 長谷川民三 | 野村忠芳 |
| 【高4】羽鳥悦子 今井利之 | 【高23】森 幸子 |
| 川島タイ子 | 【高24】柳 正雄 |
| 【高5】関根美智江 川上久江 | 【高30】飯島康之 |
| 田辺明義 高木保房 | 【高31】野坂弘幸 |
| 【高6】加藤節子 小森徹司 | 【高34】金子竜也 |
| 手計理平 鶴巻源一 | 【高40】本多悦子 |
| 宮崎慶二 鶴崎ゆみ子 | 【高42】田島美幸 |
| 【高7】小田富士子 青木弘子 | 【高46】田島浩明 |
| 村岡 清 森田計一 | 【高47】中島雄一 |
| 【高8】井野幸一 小林信雄 | 【高48】田中文規 山本秀夫 |
| 篠崎忠男 木下美根代 | 【高49】野田祐介 高木映江 |
| 高山 實 橋本真直 | 【高50】森下かほり 塩谷 明 |
| 黒澤克巳 堀口京子 | 【高4】小島尚行 塩谷 明 |
| 中村真佐子 吉岡正子 | 【高5】杉山信義 深町幸雄 |
| 【高9】石川雅朗 萩野昭夫 | 【高5】齊藤勇治 大山 博 |
| 黒沢雅志 脇 節子 | 【高5】秋山貞治 大山 博 |
| 佐藤勝栄 井上正子 | 【高5】宇佐美正和 大沢弘明 |
| 瀬崎順子 | 【高5】新井重信 大沢弘明 |
| 【高10】金井悦夫 塩原恒明 | 【高5】奈良橋秋夫 坂口靖枝 |
| 【高11】小澤 央子 | 【高5】小川一利 坂口靖枝 |
| 【高12】稲垣美智子 高 保男 | 【高5】堀越百代 |
| 堀内満津枝 倉林百合子 | 【高5】堀越百代 |
| 立花義高 山口治郎 | 【高5】堀越百代 |
| 根岸栄子 | 【高5】堀越百代 |
| 【高13】新井英雄 関口晴子 | 【高5】堀越百代 |
| 森村富子 | 【高5】堀越百代 |
| 【高14】岩田勝義 木村吉康 | 【高5】堀越百代 |
| 宮一スツ 堀口ハル子 | 【高5】堀越百代 |
| 大河原栄子 | 【高5】堀越百代 |
| 【高17】千葉洋子 清水幸子 | 【高5】堀越百代 |
| 【高18】河田立夫 清水幸子 | 【高5】堀越百代 |
| 篠崎節子 | 【高5】堀越百代 |
| 【高19】渋谷泰男 田中幹雄 | 【高5】堀越百代 |
| 岩田高子 大沢みさを | 【高5】堀越百代 |
| 山田功次 | 【高5】堀越百代 |

年会費納入方法

H10・4・1 H10・11・30

年会費納入方法
会員は振込用紙が送付され
なくとも、毎年年会費は納入
して頂くことになっておりま
す。その際は局備付け用紙を
ご使用下さい。

除終身会費納入者

年会費納入者

H10・4・1 H10・11・30

- | | |
|----------------|-----------------|
| 【高49】石井武志 岡安正頼 | 金沢いづみ川井富美子 |
| 高木優一 松崎真哉 | 柴崎真衣子 高橋裕子 |
| 齊藤田起江 高野 恵 | 逸見恵子 渡辺 愛 |
| 洪澤健二 高塚裕之 | 阿久津広真 坂上 茂 |
| 小川明子 坂本恭子 | 菅原 良 松井琢磨 |
| 鈴木恵理子 立花千夏 | 神代沙織 神 英子 |
| 宮谷有里子 穂山雄治 | 須川麻夕美 辻 玲香 |
| 明ヶ戸貴雄 岡田高和 | 光田 綾 山崎絵美子 |
| 笠原晋作 小林 悟 | 鈴木貴志 伊藤美智子 |
| 原田大輔 奥原千絵 | 木村美保 小茂田裕子 |
| 細谷玲子 田村 裕 | 法澤久美子 中田真美 |
| 矢島信昭 秋山直子 | 根岸敬子 端野美由紀 |
| 富樫妙子 宮川明子 | 松崎佐知子 佐野賢治 |
| 長谷川和成 馬場智史 | 中島康博 水越 涉 |
| 大澤 恵 谷川里美 | 森 洋和 内山裕美子 |
| 金子武史 小茂田谷子 | 大場美歩 木下宏美 |
| 清水理恵 榛葉圭子 | 後藤梨絵 清水 恵 |
| 難波尚子 栗原 基 | 田島沙里衣角理映子 |
| 小林 功 茂呂 徹 | 堀越真由美 山本綾子 |
| 大竹美穂 瀧澤浩司 | 四方田聡子 井田文雄 |
| 田中嶋隼人 永尾真由美 | 笠原晋太郎 川俣耕輔 |
| 【高50】新井 拓 江村 元 | 飯塚由美子 市橋 歩 |
| 栗島大輔 小嶋和明 | 清水麻依子 下戸奈緒子 |
| 佐藤一馬 柴崎直也 | 水谷純子 茂木真紀 |
| 高柳安信 田中久士 | 吉留久美子 小暮健太 |
| 日向奈緒 前川友紀子 | 小谷野敦 清水 純 |
| 上田大輔 岡田雅彦 | 本橋 悟 岡安美佳 |
| 沖村伊織 奥野正幸 | 金子ひとみ 高橋 瞳 |
| 櫻沢真人 當摩和広 | 上松俊彦 上島浩二 |
| 西川 旭 野口裕司 | 小林友春 坂本達彦 |
| 福井洋一郎 福島優教 | 御代田淳一 吉田英明 |
| 柳原宏光 湯本修平 | 内田亜矢子 小久保友香 |
| 大西貴子 村松麻貴 | 曾根良子 新澤絵美 |
| 新井 裕 高橋智也 | 武藤田記子 門間麻里 |
| 安達美佑貴 遠藤さつき | 山口貴子 山口隆仁 |
| | 【定48】仲原みどり 山口隆仁 |
| | 【定49】柿沼秀隆 柳田智功 |